

あけぼのおと NO 10-① ゆきあそび

《今回のあけぼのおとは、雪あそびの様子をご紹介します。》

あけぼの園では『戸外遊び』を大切にしています。雪あそびと言えば、冬の季節を感じることができ北海道ならではの遊び『雪遊び』の様子をお知らせします。0～2歳児クラスは保育士との関わりをたくさん持ちながら雪遊びを楽しんでいます。

0歳児 たんぽぽ組

初めての雪遊びは、大きなそりに雪を入れて室内で触れるところからスタート。保育士が「ふわふわ」「白くてきれいね」と遊ぶ様子を見せて子ども達への興味・関心を持たせ慣れた頃に園庭に出ていきました。冷たい風や一面真っ白な景色に目を丸くする子、慣れない手袋で雪に触ってみる子、冷たさに驚く子など色々な姿を見せてくれています。保育士が歌ったり、カップやスプーンで遊ぶ様子を見せたり、一緒に散歩したりすると少しずつ斜面に上がり挑戦したり、探索したりと個々に過ごせるようになってきています。



1歳児 ちゅうりっぷ組

雪山に登り滑って遊んだり、カップやスプーンを使ってケーキ屋さんごっこ等をお友達同士で楽しんでいます。保育士がそりを出すと電車に見立てて切符を渡し（保育士とハイタッチ）乗車。保育士の「終点です。降りて下さい」の言葉を聞くと、自らそりから降り待っているお友達と交代する様子が見られています。ちゅうりっぷ組では見立て遊びやお友達とのやり取りを保育士と一緒に楽しみながら雪で色々な見立て遊びをしています。



2歳児 こすもす組

見立て遊びが大好きなこすもす組。雪玉をおにぎりやアイスに見立てて「いらっしゃいませ」とお店屋さんに変身！周りにいるお友達も「アイスください」「お金でーす」とお客さんになりきって、みんなでごっこ遊びを楽しんでいます。大きい雪玉をテーブルに見立てアイスやおにぎりを上にのせ、みんなで食べようとする姿も見られています。沢山、積もった雪の上をゆっくり歩いたり、走ったりと雪の感触も楽しんでいます。そして、「もきゅもきゅってなった」と雪を踏んだ時に聞こえた音を言葉にする姿も見られています。



あけぼのおと NO 10-② ゆきあそび

3～5歳児クラスは、クラスみんなで一つのテーマを決めて取り組んだり自然の不思議さに触れて楽しんでいます。

3歳児 すみれ組

すみれ組ではそり遊びやスコップでの穴掘り・・・時には保育士と一緒にごっこ遊びを楽しんでいます。色水を使ったかき氷屋さんには子ども達にも大人気。子どもが集めてきた雪の塊に保育士が色水をかけると、「ワ～おいしそう」「はい お金！」とカラフルな雪の塊に大喜び！お友達や保育士とやり取りを楽しんでいるうちにお店屋さんが発展。子ども達のかき氷屋さんが出来ました。



4歳児 ゆり組

手袋や脚絆などの身支度も自分一人で出来るようになってきました。「〇〇ちゃん出来るようになったんだね」と言葉かけすると次の日に出来る子が増えています。“雪中運動会”をし、バトンリレーや、全員でマラソンしたりしました。そして雪上で寝転んで”大輪の花”を咲かせたりもしました。また、“今日のテーマ”を決め“雪だるま作りの日”“温泉掘り”“お城作り”をしたり一人では作れないけどみんなで力を合わせると、雪だるまも温泉もお城も作れるんだね！という事を経験しました。



5歳児 ひまわり組

おひさま広場で遊んでいる時にバケツの形をした氷を発見したことから、水が氷に変わる過程の実験がスタート。1日目は薄い氷が張るだけ。2日目は少し氷が厚くなる。4日目は全体が凍ってきたけど中心が水。7日目は氷に変身。そして、氷になると量が減る事・容器が異なり小さい方が早く凍る・黒い容器は時間がかかる。と言う事が解り黒い容器は熱を吸収するから時間がかかるという事を知りました。出来上がった氷でケーキを作り、宝物探しの宝物にしていました。

